

「理念戦略」策定に向けて

理念戦略委員会委員長・杉原健児

「理念戦略委員長」に選出されました

3月7日の運営会議で、私が「理念戦略委員会委員長」に選出されました。そこで早速「理念戦略私案」を作つて3月13日「平成維新フォーラム」に掲載し、皆さんの意見を求めてました。

これに対し、大谷和夫・浅見勇喜知・三鍋謙作氏などから、建設的意見・提案が出されましたので、以下その主なものを持ちます。

会の目標を明確にし、分かりやすい表現の理念が必要／そして、分かりやすく戦略を示すことが必要／会の魅力を維持する工夫が必要／当面は会員数の拡大を焦点として各種活動を開拓すべし／不特定の人だけでなく縁故者の勧誘も大切／日本人の心を打つような説得資料が必要／既存候補の推薦だけでなく、独自候補を生み出すことが肝要／組織があつて個人があるのではなく、個人が先で組織は後からである、などでした。

これらの意見・提案を考慮しながら3月20日に、以下の「第2次案」を作成し、提示しました。

「理念／戦略／戦術／作戦(案)」が提案されました

【理念】

- 1) 「平成維新憲章」に謳われた内容を基本理念とする。
- 2) 更に、現在および将来起こる個別課題に対する「個別具体的の理念」を付加する。

(例)住専問題処理／薬害エイズ問題処理／阪神大震災復興支援処理／国会改革／選挙制度改革／行政改革／道州制／規制緩和／情報公開／国際貢献／その他現実に起こっている各種問題等。

【理念実現の基本姿勢】

- 1) 「理念」が実現した素晴らしい日本・国際社会を「具体的にイメージする」こと。
- 2) 「理念」が「必ず実現すると心から信じる」こと。
- 3) 「理念」を実現させるため、まず「自ら第一歩を踏み出す」こと。 "JUST DO IT!"

【戦略】

- 1) 理念実現の戦略として流血革命は選ばず「民主主義体制下の合法手段で行う」。
- 2) 理念を実現するための「各種市民運動」を開拓し、多くの市民の共感を得る。
- 3) 合法手段で理念実現をするために「理念実現を志す人を国民の過半数にする」。

【戦略目標】

- 1) 2005年までに「理念」を確実に実現する。
そのために、
2) あらゆる戦術を使って「市民運動」「会員拡大」「推薦国会議員拡大」に努める。
3) 「会員拡大数」(東京)と「推薦国会議員拡大数」(括弧内、全国) 年次別目標

1996年300人(30人) | 2001年10万人(2

00人)

1997年1000人(60人) | 2002年30万人(250人)

1998年3000人(90人) | 2003年100万人(300人)

1999年1万人(120人) | 2004年300万人(350人)

2000年3万人(150人) | 2005年1000万人(400人)

【戦術】

- 1) 各種市民運動：時機を得たテーマで市民にアピールし一般市民を巻き込んで行く。
- 2) 他の市民運動グループとの連係運動の展開：相乗効果が期待される。
- 3) 会員拡大運動：縁故者・一般市民に呼び掛けた「会員拡大運動」を開拓する。
- 4) 街頭ビラ配り：誰でも何時でも一人で出来る、最も基本的で効果のある戦術。記載内容は、会員募集／会の活動状況の紹介／推薦議員候補アピール／政策アピール／イベント案内／推薦図書紹介等。
- 5) 国会議員等の推薦・支援活動：独自候補擁立に努める／地域活性化にも役立てる／他選挙区の応援も得る。
- 6) 会員のスキルアップ・コミュニケーション・チームワークの増進：内容は各種、情報交換会／勉強会／作戦会議／懇親会／親睦会等。
- 7) その他：様々な「戦術」を編み出し実行する。

【各種作戦A】……既に作戦チーム編成済みもの。

全国連合組織対応作戦／会報発行作戦／会員名簿管理作戦／会員拡大作戦／对外交流作戦／FAX普及作戦／パソコン通信普及作戦／教育改革フォーラム作戦／首都圏道フォーラム作戦／元気の出る一日の会作戦／いしんの会作戦／市民運動フォーラム作戦／青島都政監視作戦／基礎データ調査作戦／市区議情報ノウハウ交換作戦／がらがらにっほんの会作戦／ビジネスシーズ探索作戦／ビラ配り作戦／外国人問題作戦／渋谷区市民運動作戦／選挙対策作戦／全国活動状況ネットワーク作戦／住専処理に血税を使うな市民集会作戦／大前研一通信購読者拡大作戦／住専・エイズ・神戸・怒りのジョイントアピール作戦／健康問題調査とアピール作戦／米フォーラム作戦／時事問題と法律フォーラム作戦等。

【各種作戦B】……新たに作戦を開拓していくもの。

外部市民運動団体と協同して住専問題を有利に展開する／臨海副都心問題で市民参加の流れを創る／身近な公工事を例に都の財政の問題を取り上げ市民の自立意識を高める／NPO法案の正常審議を促す／都議養成講座の塾生を独自の候補として都議に送り出す／前回の地方選で選ばれ頑張っている市議員との共働の促進／その他時機を得た様々なテーマで市民運動を開拓していく。